

# 海軍公報

第千九百七十七號

海軍大臣官房

昭和八年九月十三日(水)

## ○ 辭令

海軍少佐 仁科 宏造

海軍軍事普及部委員ヲ免ス

同 見部 勇次

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(以上<sup>九</sup>海軍省)

## ○ 雜款

○通信艦(艇)便變更(九月六日)  
(本欄参照)

月	日	時刻	發着地名	通信艦(艇)	記事
九	一三	夕刻	館山→横須賀		
九	一四	〇六三〇	横須賀→館山 豫定作業終了後 館山→横須賀	沖風	追加
九	一五	午後	横須賀→館山		
九	一六	〇八三〇	横須賀→館山		變更
九	一七	〇九一五	横須賀→館山		追加
九	二〇	一二三〇	横須賀→館山		變更
九	二〇	一六〇〇	館山→横須賀		變更

海軍機關大尉正七位勳六等田尻幸男、海軍特務中尉正七位勳五等西川熊太郎一昨十一日飛行訓練中殉職、本十三日午後一時三十分ヨリ軍艦龍驤ニ於テ神式ニ依リ海軍葬儀執行

海軍公報 第千九百七十七號

昭和八年九月十三日

九一七

0311

○ 艦船所在

指▲印△ハホフ  
定ヲ要セズ

○ 九月十三日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、春日、白鷹、▽神通

伊一、伊二

富士▲、尻矢

【長浦】

嚴島

榎、▽神風、野風、沼風、波風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽電、雷、響、▽狹霧、曉、▽汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(子日)

【館山】

陸奥、▽日向、金剛、▽阿武隈、由良、名取、▽夕張、▽迅鯨、▽加賀、鳳翔、▽鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠

加古、▽球磨

椿、▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三日月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮

曙、隴、▽天霧、朝霧、夕霧、▽深雪、白雪、初雪、▽白雲、叢雲、東雲

伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六五、伊六六、伊六七、▽伊五四、伊五三、伊五五、▽伊五八、伊五六、伊五七

問宮、神威、鳴戸

秋風、帆風、太刀風、羽風

大泊

大湊

東中浦

吳

樺名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、勝力、淺間、江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、浦波、敷波、▽磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二六、▽伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、呂六七、▽伊三二、伊三一、伊五

掃七、掃八、掃一〇、掃一三

石廊、攝津、朝日

伊六八

大阪

徳山

三津濱

龜川

舞鶴

野島

韓崎

掃九

吾妻▲、多摩

葵、夕顔、菊

0312

呂三一▲

(千鳥)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、八重山、霧島、龍田、▷磐手、□出雲

梨、竹、榎、□夕風、朝風、追風、疾風、

□栗、柿、梅、楡、菱▲

呂二三、呂二四、呂二五、□呂二九、

呂三〇、呂三一、□呂六一、呂六二、

呂六〇、□呂六八、呂六四、呂六三、

□伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲

(初春)

【西戸崎】

大和

【馬公】

若竹▲

【鎮海】

□蓬、蓮、蓼

【旅順】

平戸

【青島】

淀

【上海】

天龍、二見、比良、堅田、浦風、□董、葦

【鎮江】

□檉

【南京】

勢多、桃、柳

【蕪湖】

檜、鳥羽

【九江】

鳥羽

【漢口】▷安宅、保津、熱海

【長沙】宇治、隅田

【宜昌】伏見

【馬尾】□吳竹、早苗

【廣東】嵯峨

【香港】五十鈴

【作業地】鶴見、洲崎、隱戸

【航海中】

膠州

早瀬 (五日「オ」發—徳山へ)

對馬 (十一日漢口發—九江へ)

藤、蔦、萩、薄 (十一日吳發—作業地へ)

佐多 (十一日佐世保發—「オ」へ)

能登呂 (十一日佐世保發—旅順へ)

那智 (十二日吳發—豊後水道へ)

襟裳 (十二日「オ」發)

室戸 (十二日吳發—西戸崎へ)

青島 (十二日旅順發—青島へ)

鬼怒 (十三日高松發—神戸へ)

綾波 (十三日佐伯發—徳山へ)

薄雲 (十三日佐伯發—伊豫灘へ)

呂二八、呂二七 (十三日三津濱發—吳へ)

知床 (十三日佐世保發—上海へ)

(部内限二頁)

0313

# 海軍公報

第千九百七十八號

昭和八年九月十四日(木)  
海軍大臣官房

## ○辭令

○昭和八年九月十四日

任海軍書記  
給五給俸

谷川 吉藏

聯合艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

吉井 五郎

(通各)

第二艦隊ニ於ケル齒科治療囑託

的野 良四郎

自今報酬月額百圓ヲ給ス(海軍省)

海軍書記 谷川 吉藏

舞鶴要港部附ヲ命ス(海軍省)

## ○雜款

○所在地變更

待命海軍少尉阿部英夫ハ吳ヨリ横須賀へ所在地變更ノ儀昨十三日認許セラレタリ

海軍公報 第千九百七十八號 昭和八年九月十四日

九二二

0314

○艦船所在

指▲印△ハヘホフ  
ヲ要セズ

○九月十四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、  
赤城、駒橋、木曾、白鷹、▷神通  
漣、▷沖風

▷伊一、伊二

富士▲、尻矢

【長浦】

嚴島

楨、▷神風、野風、沼風、波風、▷松風、  
春風、旗風、朝風、▷電、雷、響、▷狹霧、  
曉、▷汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、▷呂五九、

呂五七、呂五八、▷呂五五、呂五四、

呂五六、▷伊四、伊三、▷伊二三、伊二四

▷掃五、掃一、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(子日)

【館山】▷陸奥、▷日向、金剛、▷阿武隈、由良、

名取、▷夕張、▷迅鯨、▷加賀、鳳翔、

▷鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▷青葉、衣笠、

加古、▷球磨

椿、▷水無月、皐月、文月、長月、▷夕月、

望月、三日月、菊月、▷卯月、睦月、如月、

彌生、峯風、矢風、澤風、▷潮、曙、朧、

▷天霧、朝霧、夕霧、▷深雪、白雪、初雪、  
▷白雲、叢雲、東雲

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六五、

伊五六、伊六七、▷伊五四、伊五三、

伊五五、▷伊五八、伊五六、伊五七

掃二  
間宮、神威、鳴戸

【大湊】▷秋風、帆風、太刀風、羽風

【東中浦】

大泊  
榛名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、

大井、長鯨、扶桑、古鷹、勝力、淺間、

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

浦波、敷波、▷磯波、吹雪

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▷呂二八、呂二六、呂二七、

▷伊五二、伊五一、▷呂六五、呂六六、

呂六七、▷伊二二、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃一〇、掃一三

石廊、攝津、朝日  
(伊六八)

【大阪】(掃一四)、(眞鶴)

【神戸】

那智

薄雲

野島

【大徳山】

野島

0315

【龜川】掃丸

【舞鶴】吾妻、多摩

【呂三】夕顔、菊

【千鳥】呂三一

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、八重山、霧島、龍田、夕風、朝風、追風、疾風、梨、竹、樵、伊六四、伊六三、

伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、伊六〇、伊六八、伊六四、伊六三、

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

伊六二、伊六一、伊六四

【鎮江】檜

【南京】勢多

【上海】天龍、二見、比良、堅田

【青島】淀

【旅順】芙蓉、朝顔、刈萱

【鎮海】蓬、蓮、蓼

【馬公】若竹

【西戶崎】大和、室戸

【馬公】若竹

【西戶崎】大和、室戸

【馬公】若竹

(部内限ナシ)

【蕪湖】檜

【九江】鳥羽

【漢口】安宅、保津、熱海

【長沙】宇治、隅田

【宜昌】伏見

【馬尾】吳竹、早苗

【廣東】嵯峨

【作業地】洲崎、隠戸

【航海中】

膠州

早鞆 (五日「オハ」發—徳山へ)

對馬 (十一日漢口發—九江へ)

伊藤、葛、萩、薄 (十一日吳發—作業地へ)

佐多 (十一日佐世保發—「オハ」へ)

能登呂 (十一日佐世保發—旅順へ)

襟裳 (十二日「オハ」發)

青島 (十二日旅順發—青島へ)

五十鈴 (十三日香港發—馬公へ)

綾波 (十三日佐伯發—徳山へ)

知床 (十三日佐世保發—上海へ)

鶴見 (十三日「オハ」發)

平戸 (十四日威海衛發—旅順へ)

韓崎 (十四日三田尻發—吳へ)

春日 (十四日横須賀發—徳山へ)

0316

# 海軍公報

第千九百七十九號

昭和八年九月十五日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

教育第三四九號

昭和八年九月十四日

海軍省教育局長

各鎮守府參謀長殿  
第一、第二艦隊

第七回明治神宮體育大會ニ參加ノ件申進

今秋舉行セラルベキ首題ノ件左記ニ依リ參加セシメラ  
ルルコトト定メラレ候條可然御取計相成度

記

一、競技參加種目

- 短艇競技
- 游泳競技
- 劍道競技
- 相撲競技

二、派遣人員

種類	派遣元	短艇	短艇指揮	游泳	劍道	相撲	監督以上 士官	役員	備考
		五二	四三	〇二	四三	〇三	三	四	
		一三	一						同
		一三	一						横須賀在泊中ノ モノヨリ出ス
				一〇	八	一〇	一		舞鶴ヲ含ム
				一〇	八	一〇	一	四	
		二六	二	一〇	八	一〇	一		

三、派遣人員ノ東京ニ於ケル宿泊所  
海軍經理學校内

四、其ノ他

短艇競技用「カッター」三隻及曳航兼通信用水雷艇一隻ハ横須賀鎮守府ニ於テ準備シ當日所要時迄ニ競技場ニ回航ス

海軍公報 第千九百七十九號

昭和八年九月十五日

九二五

0317

五、所要旅費  
別途配付ス

○訓令

海軍省出仕海軍少佐 志岐 常雄  
海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ(九月廿九日海軍大臣)

○辭令

○昭和八年九月十五日  
任海軍書記 吉村 頼夫  
給七給俸

舞鶴要港部附ヲ命ス 海軍書記 吉村 頼夫  
依願免本官 同 谷川 吉藏  
海軍艦政本部勤務兼吳海軍工廠勤務 海軍技手 前濱 仁作  
兼吳海軍工廠勤務ヲ免シ兼海軍艦政本部造兵監督助  
手ヲ命ス 勳七等 大島 治喜太  
横須賀海兵團劍道教師ヲ囑託ス

但シ部内限奏任官待遇トス(以上九月廿九日海軍省)

總務部第三課勤務ヲ命ス(前海軍艦政本部)

海軍少佐 溝口 征

總務部第一課勤務ヲ命ス(前同)

海軍中佐 柴田 彌一郎

海軍技師 川名 忠兵衛  
在神戸首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(九月廿九日同)

元南洋應觀測所長 大和 隆

「パラオ」ニ於ケル地磁氣觀測事務囑託ヲ解ク(八月廿二日水路部)

○雜款

○佛艦來航豫定  
アリモトゲ

仁 川 自九月十八日 至同二十三日

長 崎 自同二十五日 至十月二十五日

デュモン、デュル、ヴィル

宮 島 自九月十一日 至同十四日

長 崎 自同十五日 至十月末日



○特務艦知床行動豫定變更(七月十九日)  
(本欄参照)

地名	着	發
横須賀	九月五日	九月三日
吳世保	八月八日	七月七日
佐世保	十五日	十三日
上世保	十九日	十七日
德山	二十二日	二十一日
吳須賀	二十七日	二十七日
横須賀	十月二日	二十九日
吳世保	八月八日	十月六日
佐世保	十二月十二日	十月十日

○移轉

海軍艦政本部第六部長海軍少將野邊田重典宅  
目黒區綠ヶ丘二三三二一

○在外武官宿所變更

米國駐在 海軍大尉 有馬高泰  
Lieutenant T. Arima, I. J. N.,  
c/o Mr. E. W. Clark,  
60 Ralston Avenue, Hamden, Conn.,  
U. S. A.

○横須賀海軍工廠沿革誌ニ關スル件照會

昭和四年當廠沿革誌ヲ刊行シ廣ク要望者ニ實費配付致候處近ク續編(自昭和三年至同七年)ヲ出版可致候ニ就テハ要望者有之候ハバ各部ニ於テ所要部數取纏メ來九月三十日迄ニ御通知相成度  
追テ實費(郵送料ヲ含ム)ハ金拾五錢内外ノ見込ニ有之候  
(横須賀海軍工廠)

○七月十三日海軍公報附錄東北地方及北海道震災義捐金簿出明細表中左記ノ通訂正ス

軍艦球磨 一〇八四五〇〇  
トアルヲ

軍艦球磨 三五、五六〇(送金料、二〇〇控除)  
第二潜水戰隊司令部 九、〇七〇  
第十八潜水隊 三五、四二〇  
第十九潜水隊 二八、四五〇  
ニ訂正ス

昭和八年九月十三日  
海軍省經理局海軍主計少佐 岩成 義三

0319

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定ス

○九月十五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷹、神通、漣、神風、野風、沖風

伊一、伊二

富士▲、尻矢

【長浦】

嚴島、横、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、雷、響、狭霧、曉、沙風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊十、伊十一、伊十二、伊十三、伊十四、伊十五、伊十六、伊十七、伊十八、伊十九、伊二十

【浦賀】

館山、陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、加古、球磨

椿、水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、三月月、菊月、卯月、陸月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧

天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、伊五六、伊五七、問宮、神威、鳴戸

【大湊】

秋風、帆風、太刀風、羽風、大泊

【新加坡】

大泊、榛名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、勝力、韓崎、淺間

【吳】

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、浦波、敷波、磯波、吹雪、藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二八、呂二六、呂二七、伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊二三、伊二一、伊五、掃七、掃八、掃一〇、掃一三、石廊、攝津、朝日

【大阪】

(掃一四)、(真鶴)

【神戸】

鬼怒

【徳山】

那智、綾波、薄雲

0320

【龜川】 早柄  
掃九

【舞鶴】 吾妻▲、多摩

呂葵、夕顔、菊  
呂三一▲

(千鳥)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、八重山、

霧島、龍田、▷磐手、□出雲

梨、竹、榎、□夕風、朝風、追風、疾風、

□栗、柿、榊、楡、菱▲

呂二三、呂二四、呂二五、□呂二九、

呂三〇、呂三一、□呂六一、呂六二、

呂六〇、□呂六八、呂六四、呂六三、

□伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲

(初春)

【西戸崎】 大和

【馬公】 若竹▲

【高雄】 五十鈴

【鎮海】 区蓬、蓮、蓼

【旅順】 区芙蓉、朝顔、刈萱

能登呂

【青島】 平戸、淀

【上海】 天龍、二見、比良、擊田

浦風、□董、葦

【鎮江】 区樅  
【南京】 勢多

桃、柳

【蕪湖】 檜

【九江】 鳥羽、對馬

【漢口】 ▷安宅、保津、熱海

【長沙】 宇治、隅田

【宜昌】 伏見

【馬尾】 区吳竹、早苗

【廣東】 饒賊

【作樂地】 湖崎、隱戸、佐多

【航海中】

膠州

襟裳 (十二日「オ」發)

知床 (十三日佐世保發—上海—)

鶴見 (十三日「オ」發)

春日 (十四日橫須賀發—德山—)

青島 (十四日青島發—佐世保—)

野島 (十四日德山發—館山—)

室戸 (十五日西戸崎發—館山—)

(部内限一頁、同附録七頁)

0321

# 海軍公報

第千九百八十號

昭和八年九月十六日(土)  
海軍大臣官房

## ○雜款

○司令驅逐艦變更  
第十三驅逐隊司令ハ昨十五日司令驅逐艦ヲ一時吳竹ヨ  
リ早苗ニ變更セリ

○移轉  
海軍經理學校副官官舎  
東京市京橋區小田原町三丁目(電話京橋56) 六〇五二番)

海軍技師正四位勳三等前田與市昨十五日卒去、明  
後十八日午後一時ヨリ同二時迄荒川區日暮里町九  
青雲寺ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第千九百八十號 昭和八年九月十六日

九三一

0322

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月十六日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷹、神通、漣、神風、野風、沖風

伊一、伊二

富士▲、尻矢

【長浦】

嚴島

横、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、電、雷、響、狹霧、曉、沙風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊十、伊十一、伊十二、伊十三、伊十四、伊十五、伊十六、伊十七、伊十八、伊十九、伊二十

【浦賀】

(子日)

【館山】

陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、加古、球磨

椿、水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、三月月、菊月、卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧

天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、伊五六、伊五七

伊三

間宮、神威、鳴戸

秋風、帆風、太刀風、羽風

【大湊】

秋風、帆風、太刀風、羽風

【新加坡】

大泊

【吳】

榛名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、勝力、韓崎、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、浦波、敷波、磯波、吹雪、藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二八、呂二六、呂二七、呂五二、伊五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊二三、伊二一、伊五

伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊二三、伊二一、伊五

石廊、攝津、朝日

(伊六八)

掃一四、(真鶴)

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三

鬼怒

那智

【大坂】

(掃一四)、(真鶴)

【粟島】

鬼怒

【德山】

那智

0323

区綾波、薄雲

早鞆

【舞鶴】

吾妻、多摩

区葵、夕顔、菊

区三一

区千鳥

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、八重山、

霧島、龍田、区磐手、区出雲

梨、竹、樵、区夕風、朝風、追風、疾風、

区栗、柿、榊、榆、菱

区二二、区二四、区二五、区二九、

区三〇、区三二、区六一、区六二、

区六〇、区六八、区六四、区六三、

区伊六二、伊六一、伊六四

敷島

区初春

【西戸崎】

大和

【馬公】

若竹

【高雄】

五十鈴

【鎮海】

区蓬、蓮、蓼

【旅順】

区芙蓉、朝顔、刈萱

能登呂

【青島】

平戸、淀

【上海】

天龍、二見、比良、堅田

浦風、区董、葦

【鎮江】 知床

【南京】 勢多

【蕪湖】 桃、柳

【九江】 檜

【漢口】 鳥羽、對馬

【長沙】 安宅、保津、熱海

【宜昌】 宇治、隅田

【馬尼拉】 伏見

【廣東】 早苗

【作業地】 嵯峨

【航海中】 隱戸、佐多

膠州

襟裳

【十二日】 才ハ發

【十三日】 才ハ發

【春日】 十四日横須賀發—徳山へ

【青島】 十四日青島發—佐世保へ

【野島】 十四日徳山發—館山へ

【吳竹】 十五日馬尼發—馬公へ

【室戸】 十五日西戸崎發—館山へ

【洲崎】 十五日才ハ發

(部内限二頁)

0324

# 海軍公報 第千九百八十一號

昭和八年九月十八日(月)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第四一三八號

左記ニ依リ運用術練習艦ニ於テ臨時航海長講習ヲ施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

昭和八年九月十八日

海軍大臣

## 記

一、講習科目

水路測量術、電磁學、基本戰術

二、講習期間

昭和八年十月十日ヨリ三週間

但シ講習員中艦船ノ行動上差支アルモノハ便宜講習期間ヲ短縮スルコトヲ得

三、講習員

海軍大尉 中垣義幸(長 鯨)

四、旅費

(一)講習員ハ講習開始ノ前日軍艦春日ニ乗艦、終了當日同艦退艦トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

(二)乘艦中ハ旅費ヲ支給セズ食料及航海加俸ヲ支給ス

同 沖原秀也(知床)

同 村岡富一(伊二潛)

同 濱崎隆(叢雲)

同 碓井次(朝風)

同 山口義男(疾風)

同 土肥一夫(菊月)

同 福村利明(伊六二潛)

同 池田周作(夕風)

## ○辭令

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍少將 吉田善吾

海軍公報 第千九百八十二號

昭和八年九月十八日

九三五

0325

海軍生徒採用試験委員ヲ命ス

同 古賀 峯一

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍大尉 林 孝善

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍軍醫中佐 松本 暢

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス(以上<sup>九月十五日</sup>海軍省)

○ 雜 款

○郵便物發送先  
特務艦知床宛

九月二十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十六日迄ニ 同 德 世 保

同 二十八日迄ニ 同 吳 須 賀

十月五日迄ニ 同 橫 須 賀

同 九日迄ニ 同 吳 須 賀

其ノ後ハ 佐 世 保

0326



○艦船所在

▲印ハヘホホ  
指定ヲ要セズ

○九月十八日午前十時調

【横須賀】

口進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷹、▽神通

漣、▽神風、野風、▽沖風

▽伊一、伊二、▽伊六三、伊五九、伊六〇

富士▲、尻矢、野島

【長浦】

殿島

榎、沼風、波風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽電、雷、響、▽狹霧、曉、▽汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊四、伊三、▽伊二三、伊二四、▽伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】

▽陸奥、▽日向、金剛、▽阿武隈、由良、名取、▽夕張、▽迅鯨、▽加賀、鳳翔、▽島海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、加古、▽球磨

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三月月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、朧

海軍公報 第千九百八十一號 昭和八年九月十八日

0327

【大湊】

▽秋風、帆風、太刀風、羽風、問宮、神威、鳴戸、室戸

【新加坡】

大泊

【吳】

榛名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、勝力、韓崎、淺間

【大坂】

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、浦波、敷波、▽磯波、吹雪、▽藤、葛、萩、薄

【德山】

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二六、呂二七、呂二八、▽伊五二、伊五一、▽呂六五、呂六六、▽呂六七、▽伊二二、伊二一、伊五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃二三、石廊、攝津、朝日

【大阪】

(伊六八)

【德山】

▽綾波、薄雲

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【德山】

早鞆

【舞鶴】

吾妻▲、多摩  
呂葵、夕顔、菊  
呂三一▲

(千鳥)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、霧島、  
龍田、▷磐手

梨、竹、樵、▷夕風、朝風、追風、疾風、

▷栗、柿、梅、楡、菱▲

呂二三、呂二四、呂二五、▷呂二九、

呂三〇、呂三二、▷呂六一、呂六二、

呂六〇、▷呂六八、呂六四、呂六三、

▷伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、青島

(初春)

【馬公】

五十鈴

若竹▲、吳竹

【鎮海】

▷蓬、運、蓼

【旅順】

淀

【遭難地】

能登呂

【安東沖】

▷朝顔、芙蓉、刈萱

【青島】

平戸

【上海】

天龍、二見、比良、堅田▲

浦風、▷董、葦

【鎮江】

▷檜

【南京】

勢多

桃、柳

【蕪湖】

檜

【九江】

鳥羽、對馬

【漢口】

▷安宅、保津、熱海

【長沙】

宇治、隅田

【宜昌】

伏見

【馬尾】

▷早苗

【廣東】

嵯峨

【作業地】

佐多、大和

【航海中】

膠州

襟裳 (十二日「オハ」發)

鶴見 (十三日「オハ」發)

洲崎 (十五日「オハ」發)

▷出雲

(十七日佐世保發—上海へ)

春日 (十七日徳山發—鎮南浦へ)

知床 (十七日上海發—佐世保へ)

隠戸 (十七日「オハ」發)

那智 (十八日徳山發—吳へ)

八重山 (十八日佐世保發—鎮海へ)

(部内限二頁、同號外一頁及附録六頁)

0328

# 海軍公報

第千九百八十二號

昭和八年九月十九日(火)

## 海軍大臣官房

### ○雜款

○司令驅逐艦變更  
第十六驅逐隊司令ハ昨十八日司令驅逐艦ヲ一時芙蓉ヨリ朝顔ニ變更セリ

○司令潜水艦變更  
第十四潜水隊司令ハ本月十六日司令潜水艦ヲ呂號第二十八潜水艦ヨリ呂號第二十六潜水艦ニ變更セリ

○伊國巡洋艦「クアルト」來航豫定  
地名 着 發  
高雄 九月二十日 九月二十五日

○特務艦野島行動豫定變更(九月八日)  
(本欄参照)

地名	着	發
横須賀	九月十七日	九月二十日
館山	二十日	二十日
大阪	二十二日	二十四日
吳	二十五日	二十七日
佐世保	二十八日	

### ○着任、退廳

新 海軍省 軍務局長	海軍少將 吉田 善吾	本月五日着任
前 海軍省 軍務局長	海軍中將 寺 島 健	本月六日退廳

### ○電話架設

海軍航空本部總務部長海軍少將河村儀一郎宅(世田谷區經堂町三六七)  
世田谷 三一三〇番

海軍造兵少將從四位勳三等武石太郎本月十六日卒去、本十九日午後五時佐世保市海軍凱旋記念館ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

海軍公報 第千九百八十二號 昭和八年九月十九日

九三九

0329

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月十九日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷹、神通

漣、伊神風、野風、伊沖風

伊一、伊二、伊六三、伊五九

富士、尻矢、野島、室戸

【長浦】

嚴島

旗、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、雷、響、狹霧、曉、汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九

呂五七、呂五八、呂五五、呂五四

呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

伊掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

浦賀(子日)

【館山】

陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、名取、夕張、加賀、鳳翔、島海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、加古、球磨

椿、水無月、皋月、文月、長月、夕月、望月、三月、菊月、卯月、睦月、如月、彌生、峯風、矢風、澤風、潮、曙、朧

【大坂】

天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲

伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、伊五六、伊五七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六、秋風、帆風、太刀風、羽風

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七

0330

【佐世保】

(千島)

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、霧島、龍田、▷磐手

梨、竹、樞、▷夕風、朝風、追風、疾風、  
▷栗、柿、榊、楡、菱▲

呂三三、呂二四、呂二五、▷呂二九、  
呂三〇、呂三二、▷呂六一、呂六二、  
呂六〇、▷呂六八、呂六四、呂六三、  
▷伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、大和

(初春)

【馬公】

五十鈴、若竹▲、吳竹▲

【鎮海】

八重山、▷蓬、蓮、蓼

【旅順】

淀、能登呂

【遭難地】

▷朝顔、刈萱

【安東】

平戸、天龍、二見、堅田▲

【青島】

▷董、葦

【上海】

▷檉、桃、柳

【鎮江】

▷勢多

【南京】

▷檉

【燕湖】

▷檉

【九江】

鳥羽、對馬

【漢口】

▷安宅、保津、熱海、宇治、隅田

【長沙】

伏見

【宜昌】

▷早苗

【馬尾】

▷早苗

【廣東】

嵯峨

【作業地】

佐多

【航海中】

膠州

襟裳

(十二日「オハ」發)

鶴見

(十三日「オハ」發)

洲崎

(十五日「オハ」發)

川雲

(十七日佐世保發—上海—)

春日

(十七日德山發—鎮南浦—)

知床

(十七日上海發—佐世保—)

隱戸

(十七日「オハ」發)

比良

(十八日上海發—宜昌—)

浦風

(十八日上海發—南京—)

大泊

(十八日新知灣發—得撫島伽藍崎—)

(部内限一頁)

0331

# 海軍公報

第千九百八十三號

海軍大臣官房

昭和八年九月二十日(水)

## ○令達

官房第四一八八號

來二十三日秋季皇靈祭同神慶祭ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ベシ

昭和八年九月二十日

海軍大臣

一、午前九時三十分賢所參集所へ參集スベキ者

親任官、勅任官同待遇

一、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スベキ者

奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スベキ者

位勳ヲ有セザル判任官同待遇

服裝 正裝 大禮服

## ○辭令

(各) 廣島地方裁判所所屬辯護士 中洲 梅治郎  
(通) 高知地方裁判所所屬辯護士 岡本 滯一  
海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(十九日海軍大臣)

海軍特務大尉 藤野 太七

吳海軍工廠ニ於ケル事變關係砲熷業務ヲ囑託ス

從七位 前原 重晴

吳海軍建築部ニ於ケル土木業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上十九日海軍省)

海軍技手 前濱 仁作

在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(十九日海軍艦政本部)

政本部)

海軍公報 第千九百八十三號

昭和八年九月二十日

九四三

0332



【葵、夕顔、菊】  
呂三一▲

(千鳥)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、霧島、

龍田、▷磐手

梨、竹、樞、▷夕風、朝風、追風、疾風、

▷栗、柿、榊、楡、菱

▷呂二三、▷呂二四、▷呂二五、▷呂二九、

▷呂三〇、▷呂三一、▷呂六一、▷呂六二、

▷呂六〇、▷呂六八、▷呂六四、▷呂六三、

▷伊六二、▷伊六一、▷伊六四

敷島▲、大和

(初春)

【西戸崎】

青島

【馬公】

五十鈴

【鎮海】

吳竹▲

【旅順】

▷蓬、蓮、蓼

芙蓉

【安東】

▷朝顔、刈萱

【大連】

能登呂

【青島】

平戸

【上海】

▷天龍、二見、堅田▲

▷葦、葦

【鎮江】▷檉

【南京】▷勢多

桃、柳、浦風

【蕪湖】▷檉

鳥羽、對馬

【九江】▷安宅、保津、熱海

【漢口】▷字治、隅田

【長沙】▷伏見

【宜昌】▷早苗

【馬尾】▷若竹

【廈門】▷嗟峨

【廣東】▷佐多

【才心】▷

【航海中】

膠州

鶴見 (十三日「オハ」發)

洲崎 (十五日「オハ」發)

▷出雲 (十七日佐世保發—上海—)

春日 (十七日德山發—鎮南浦—)

知床 (十七日上海發—佐世保—)

隱戸 (十七日「オハ」發)

比良 (十八日上海發—宜昌—)

早鞆 (十八日德山發—「オハ」—)

(部内限二頁)

0334



# 海軍公報

第千九百八十四號

海軍大臣官房

昭和八年九月二十一日(木)

## ○通牒

軍務二第三四〇號

昭和八年九月十九日

海軍省軍務局長

横須賀鎮守府 參謀長殿  
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀  
交付ノ旨通牒有之候  
記

第一三一號

免狀

- 一 船 名 フリニ
- 一 國 籍 米 國
- 一 種 類 帆 船
- 一 船主氏名及國籍 米國人アール、ゼー、トイスラー
- 一 船長氏名及國籍 同上

海軍公報 第千九百八十四號

昭和八年九月二十一日

九四七

一 噸 數 七 噸

一 網具ノ裝置 スルツブ

一 橋 ノ 數 一 本

一 寄港ノ目的 陸揚保管

一 寄港 地名 東京府月島

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有効期間ハ昭和八年九月九日ヨリ昭和九年四

月三十日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄

港ヲ差止マルコトアルヘシ

昭和八年九月十九日

遞 信 大 臣

(裏面)

航行心得

一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ

各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ

二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ

検査ヲ受クベシ

- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ
- 四 每航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同ジ
- 五 每航行ニ於ケル就航前本船々員及船員以外ノ乗船者ノ氏名、國籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 六 本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシメムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 七 瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣埴生ト福岡縣苅田ヲ結ブ線外ヲ航行スベズカラ
- 八 廣島附近ノ海面ニ付テハ五日市、津久根島及西能美島ノ西北端ヲ連ヌル線以東ニ立入り且早瀬及音戸ノ兩水道ヲ通過スベカラズ
- 九 本航行心得ニ違背スルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ

- 一〇 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ
- 二 本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

航本第二五六五號  
海軍航空機(機體)基本部品制式中左ノ通改正ス  
昭和八年九月二十日

海軍航空本部長

- 一、海軍航空機ねぢ制式附録1、2、3ヲ別紙海空No.01, No.02, No.03ニ改ム(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス)
- 一、海空No.3ヨリ海空No.302—38ノ間ニ於ケル
- ねぢニ海軍航空機ねぢ制式別表二ノ一號ピッチヲ
- ねぢニ海空No.02ニ
- ねぢニ海軍航空機ねぢ制式別表三ノ一號ピッチヲ
- ねぢニ海空No.03一號ピッチニ
- ねぢニ海軍航空機ねぢ制式別表三ノ二號ピッチヲ
- ねぢニ海空No.03二號ピッチニ改ム

R 0336



○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○九月二十一日午前十時調

【横須賀】

口進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷹、▽神通

伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九

富士▲、尻矢、間宮

【長浦】

巖島

横、▽神風、野風、沼風、波風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽電、雷、響、▽狭霧、曉、▽汐風、鳥風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、伊四、伊三、伊二、伊一、伊二四

伊五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】

(子日)

【館山】

▽陸奥、▽日向、金剛、▽阿武隈、由良、名取、▽夕張、▽迅鯨、▽加賀、鳳翔、▽鳥海、高雄、愛宕、摩耶、▽青葉、衣笠、加古、▽球磨

椿、▽水無月、皐月、文月、長月、▽夕月、望月、三日月、菊月、▽卯月、睦月、如月、彌生、▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮

【大湊】

▽秋風、帆風、太刀風、羽風

【古釜府】

大泊

【吳】

榛名、矢矧、伊勢、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、那智、勝力、韓崎、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽綾波、浦波、敷波、▽磯波、吹雪、薄雲、▽藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二六、呂二七、呂二八、伊五二、伊五一、▽呂六五、呂六六、呂六七、伊二二、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、石廊、攝津、朝日

(伊六八)

【大阪】

(掃一四)、(真鶴)

【徳山】

襟裳

【別府】

鬼怒

【舞鶴】

吾妻▲、多摩

0338

呂葵、夕顔、菊

呂三一▲

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、常磐、霧島、龍田、▽磐手

梨、竹、樵、▽夕風、朝風、追風、疾風、栗、柿、榊、楡

呂二三、呂二四、呂二五、▽呂二九、呂三〇、呂三一、▽呂六一、呂六二、呂六〇、▽呂六八、呂六四、呂六三、▽伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、知床、大和

(初春)

【西戸崎】

青島

【馬公】

五十鈴

【鎮海】

吳竹▲

【鎮南浦】

八重山

【旅順】

春日

芙蓉

能登呂

【大王家島】

朝顔、刈萱

【青島】

平戸

【上海】

田雲、天龍、二見、堅田▲

【鎮江】

▽董、葦

【南京】

勢多

【蕪湖】

浦風、桃、柳

【九江】

鳥羽、對馬

【漢口】

▽安宅、保津、熱海

【長沙】

宇治、隅田

【宜昌】

伏見

【馬尾】

▽早苗

【廈門】

若竹

【廣東】

嵯峨

【才心】

佐多

【航海中】

膠州

鶴見 (十三日「オハ」發)

洲崎 (十五日「オハ」發)

隱戸 (十七日「オハ」發)

比良 (十八日上海發「宜昌」)

早鞆 (十八日德山發「オハ」)

菱 (二十日佐世保發「上海」)

野島 (二十日館山發「大阪」)

室戸 (二十一日横須賀發「父島」)

(部内限一頁)

0339

# 海軍公報

第千九百八十五號

海軍大臣官房

昭和八年九月二十二日(金)

## ○辭令

小川 金之助  
海軍機關學校ニ於ケル劍道教授ヲ囑託ス  
但シ毎年十二月ヨリ翌年三月ニ至ル期間報酬月額  
百貳拾圓ヲ贈與シ部内限奏任官待遇トス(海軍省)

海軍大佐 阿部 勝雄

海軍學生銓衡委員ヲ命ス  
海軍軍事普及部委員ヲ命ス(海軍省同)

## ○雜款

○旗艦變更  
第二水雷戰隊司令官ハ一昨二十日旗艦ヲ一時神通ヨリ  
曙ニ變更セリ

○軍艦鬼怒行動豫定

地名 着

吳	蒲	四	名	津	下	宇	吳
郡	市	古	屋	津	野	野	野
九月二十八日	二十九日	十月二日	六日	十日	十一日	十二日	十二日
九月二十七日	二十九日	十月二日	六日	九日	十一日	十二日	十二日

○軍艦淺間行動豫定

地名	着	發
吳	九月二十二日	九月二十一日
吳	九月二十八日	二十八日
安	九月三十日	三十日
郡	十月二日	二日
吳	十月二日	二日

○英國艦船來航豫定  
補助船セントブレック

海軍公報 第千九百八十五號 昭和八年九月二十二日

九五三

0340

地名	大連	着	九月二十六日	發	十月六日
地名	コーンフラソ	着	十月三日	發	十月六日

○郵便物發送先

軍艦鬼怒宛

九月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十八日迄ニ 同

十月一日迄ニ 同

同 五日迄ニ 同

同 八日迄ニ 同

其ノ後ハ

軍艦淺間宛

九月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ

同 三十日迄ニ 同

其ノ後ハ

吳 蒲 四 名 津 吳  
郡 市 日 古 屋

吳 安 下 庄

0341

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二十二日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、八雲、北上、長門、比叡、赤城、駒橋、木曾、白鷺、神通

漣

伊一、伊二、伊六三、伊五九

富士、尻矢、南宮

【長浦】

嚴島

横、神風、野風、沼風、波風、松風、春風、旗風、朝風、電、雷、響、狹霧、曉、汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

伊掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

浦智(子日)

館山

伊勢灣

陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、加古、球磨

水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、三日月、菊月、卯月、睦月、如月、彌生

沖風、峯風、矢風、澤風、曙、潮、瀧、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、初雪、白雲、叢雲、東雲

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、伊五六、伊五七

神威、鳴戸

大湊

秋風、帆風、太刀風、羽風

吉釜府

大泊

吳

榛名、矢矧、妙高、那珂、龍驤、大井、長鯨、扶桑、古鷹、那智、勝力、韓崎

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、綾波、浦波、救波、磯波、吹雪、薄雲、藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、呂六七、伊二三、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三

石廊、攝津、朝日、襟裳

伊六八

大阪

安下庄

舞鶴

吾妻、多摩

葵、夕顔、菊

0342



呂三一▲

(千島)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、霧島、龍田、

▷磐手

梨、竹、樵、区夕風、朝風、追風、疾風、

呂二三、呂二四、呂二五、区呂二九、

呂三〇、呂三一、区呂六一、呂六二、

呂六〇、区呂六八、呂六四、呂六三、

区伊六二、伊六一、伊六四

敷島▲、知床、大和

(初春)

【西戸崎】

青島

【長崎】

区栗、柿、榎、榆

【橘灣】

常磐

【馬公】

吳竹▲

【鎮海】

八重山

区蓬、蓮、蓼

【鎮南浦】

春日

【旅順】

芙蓉

【大王家島】

区朝顔、刈萱

【青島】

平戸

【上海】

区董、菘、菱、天龍、二見、堅田▲

【鎮江】

区櫻

【南京】

勢多

浦風、桃、柳

【蕪湖】

檜、鳥羽、對馬

【九江】

▷安宅、保津、熱海

【漢口】

宇治、隅田

【長沙】

伏見

【宜昌】

早苗

【馬尾】

若竹

【廈門】

嵯峨

【廣東】

佐多

【才心】

【航海中】

膠州

鶴見 (十三日「オハ」發)

洲崎 (十五日「オハ」發)

隱戸 (十七日「オハ」發)

比良 (十八日上海發「宜昌」)

早鞆 (十八日德山發「オハ」)

野島 (二十日館山發「大阪」)

淀、能登呂 (二十一日旅順發「營口」)

伊勢 (二十一日吳發「和歌浦」)

淺間 (二十一日吳發「廣島灣」)

五十鈴 (二十一日馬公發「馬尾」)

室戸 (二十一日横須賀發「父島」)

(部内限一頁、同附録九頁)

0343

義第一一七號ノ一通牒

昭和八年九月二十一日

海軍義濟會常務理事

各 廳 長 殿

海軍義濟會員名簿追加版配布ノ件

昭和六年十一月海軍義濟會員名簿發行ノ處其ノ後會員ノ異動  
等有之候間此際該名簿ノ増補訂正ノ部分ヲ印刷配布致スベク  
候條希望ノ向ハ來ル十月十日迄ニ取纏メ御申込相成度

(終)

0344

# 海軍公報

第千九百八十六號

昭和八年九月二十五日(月)  
海軍大臣官房

## ○辭令

北海道帝國大學教授 上床 國夫  
海軍省事變關係事務囑託ヲ解ク(九月三日海軍省)

海軍技手 小川 義士

給三級俸

依願免本官(九月十五日同)

海軍大佐 金澤 正夫

第一課勤務ヲ免ス(九月十日海軍省軍務局)

研究部附兼火藥部附海軍技手 宮入 清太郎

火藥部附ヲ命ス

火藥部附同 楠目 正康

研究部附ヲ命ス(以上九月十日海軍火藥廠)

## ○雜款

司令驅逐艦變更  
第十六驅逐隊司令ハ一昨二十三日司令驅逐艦ヲ朝顔ヨ

リ芙蓉ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第二十八潜水隊司令ハ本月十八日司令潜水艦ヲ伊號第六十三潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ

○軍艦伊勢行動豫定變更(九月九日)

地名 着

發

吳 浦 九月二十二日

九月二十一日

和 歌 九月二十三日

二十三日

大 阪 九月二十九日

二十九日

神 戶 十月二日

十月二日

赤 穂 十月四日

四日

納 六日

六日

○正誤

本月二十一日通牒欄航本第二五六五號海軍航空機(機體)基本部品制式改正ノ件四號中「及」ハ「乃至」ノ、「川」ハ「川」ノ孰モ誤

軍海公報 第千九百八十六號

昭和八年九月二十五日

九五七

0345

○ 艦船所在 指定ヲ要セズ

○ 九月二十五日午前十時調

【横須賀】 日進▲、山城、八雲、北上、長門、比叡、

赤城、駒橋、木曾、白鷺、神通

漣

伊一、伊二

【長浦】 嚴島

榎、松風、春風、旗風、朝風、電、雷、響、狭霧、曉、汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、

呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、

呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

【浦賀】 (子日)

椿

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【清水】 神風、野風、沼風、波風

【伊勢灣】 陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、

鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、

加古、球磨

水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、

三日月、菊月、卯月、睦月、如月、彌生、

沖風、峯風、矢風、澤風、曙、潮、

瀧、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、

初雪、白雲、叢雲、東雲

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、

伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、

伊五六、伊五七

【大湊】 秋風、帆風、太刀風、羽風

【吳】 榛名、矢矧、妙高、那珂、龍驤、大井、

長鯨、扶桑、古鷹、那智、勝力、韓崎、

鬼怒、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、

藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、

伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊二二、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三

【大阪】 伊勢 (伊六八)

【徳山】 掃一四、(真鶴)

洲崎、隠戸、知床

0346

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕顔、菊

呂三一▲

(千鳥)

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、霧島、龍田、常磐、八重山、磐手

梨、竹、樵、夕風、朝風、追風、疾風、栗、柿、梅、楡

呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六一、呂六二、呂六〇、呂六八、呂六四、呂六三、伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、伊五九

敷島▲、鶴見

(初春)

馬公▲、早苗、吳竹▲

鎮海▲、蓬、蓮、蓼

旅順▲、芙蓉、朝顔、刈萱

大連▲、春日

【山海關】

能登呂

青島▲、平戸

上海▲、出雲、天龍、堅田▲

吳淞▲、董、葦、菱

鎮江▲、樞

南京▲、勢多

【燕湖】

浦風、桃、柳、二見、檜

【九江】

鳥羽、對馬

【漢口】

安宅、保津、熱海、宇治、隅田

【長沙】

伏見

【宜昌】

五十鈴

【廈門】

若竹

【廣東】

蟻峨

【オハ】

佐多

【作業地】

淀

【航海中】

室戸

膠州

比良 (十八日上海發—宜昌へ)

早鞆 (十八日徳山發—オハへ)

大泊 (二十四日根室發—大湊へ)

青島 (二十四日吳發—横須賀へ)

野島 (二十四日大阪發—吳へ)

大和 (二十五日佐世保發—清津へ)

(部内限四頁、同號外三頁)

0347

# 海軍公報

第千九百八十七號

昭和八年九月二十六日(火)

海軍大臣官房

## ○ 雜 款

○司令驅逐艦變更  
第十三驅逐隊司令ハ昨二十五日司令驅逐艦ヲ早苗ヨリ  
吳竹ニ變更セリ

○事務所撤去  
驅逐艦初春艦裝員事務所ヲ佐世保海軍工廠内ニ設置中  
ノ處本月二十二日撤去セリ

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自九月十六日  
至同月十六日)

地名	病名		患者	死者
	ペスト	コレラ		
上 海				
七 普		一		
蘭 貢	二			三

バセイン	二				
カルカッタ			二三		
マドラス				三三	
ネガバタム					三
孟 買	一				

軍海公報 第千九百八十七號 昭和八年九月二十六日

九六一

0348

○艦船所在

▲印ハニハホフ  
指定ヲ要セズ

○九月二十六日午前十時調

【横須賀】口進▲、山城、八雲、北上、長門、赤城、

駒橋、木曾、白鷹、神通

漣

伊一、伊二

富士▲、尻矢

【長浦】

殿島

檣、松風、春風、旗風、朝風、電、雷、響、狹霧、曉、汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、

呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、

呂五六、伊四、伊三、伊二三、伊二四

【浦賀】(子日)

【館山】比叡

樁 掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【清水】神風、野風、沼風、波風

【伊勢灣】陸奥、日向、金剛、阿武隈、由良、

名取、夕張、迅鯨、加賀、鳳翔、

鳥海、高雄、愛宕、摩耶、青葉、衣笠、

加古、球磨

水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、

三日月、菊月、卯月、陸月、如月、彌生、

沖風、峯風、矢風、澤風、曙、潮、

朧、天霧、朝霧、夕霧、深雪、白雪、

初雪、白雲、叢雲、東雲

伊六〇、伊六五、伊六六、伊六七、

伊五四、伊五三、伊五五、伊五八、

伊五六、伊五七

問宮、神威、鳴戸

【大湊】秋風、帆風、太刀風、羽風

大泊

【吳】榛名、矢矧、妙高、那珂、龍驤、大井、

長鯨、扶桑、古鷹、那智、勝力、韓崎、

鬼怒、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、磯波、吹雪、薄雲、

藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、

伊五二、伊五一、呂六五、呂六六、

呂六七、伊二三、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃二三

石廊、攝津、朝日、襟裳、野島

【大阪】伊勢

0349

【德山】知床  
【舞鶴】吾妻▲、多摩  
呂三二▲

【佐世保】長良、足柄、羽黒、川内、霧島、龍田、  
常磐、八重山、▷磐手

梨、竹、樞、▷夕風、朝風、追風、疾風、  
▷栗、柿、梅、楡

呂三三、呂二四、呂二五、▷呂二九、  
呂三〇、呂三一、▷呂六一、呂六二、  
呂六〇、▷呂六八、呂六四、呂六三、  
▷伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、  
伊五九

敷島▲、鶴見

(初春)

【馬公】吳竹、若竹、早苗

【鎮海】区蓬、蓮、蓼

【旅順】区芙蓉、朝顔、刈萱

【大連】春日

【山海關】能登呂

【青島】平戸

【上海】▷川雲、天龍、堅田▲  
▷董、葦、菱

【鎮江】区櫻、桃、柳、楡

【南京】浦風

【蕪湖】二見

【九江】鳥羽、對馬

【漢口】▷安宅、保津、熱海

【長沙】宇治、隅田

【宜昌】伏見

【馬尾】五十鈴

【廣東】嵯峨

【作業地】淀

【航海中】

膠州 (十八日上海發—宜昌へ)

比良 (十八日德山發—才へへ)

早瀬 (二十四日吳發—横須賀へ)

青島 (二十五日南京發—漢口へ)

勢多 (二十五日佐世保發—清津へ)

大和 (二十五日才へへ發—德山へ)

佐多 (二十五日德山發—横須賀へ)

洲崎 (二十六日德山發—吳へ)

隱戸

(部内限三頁)

0350



# 海軍公報

第千九百八十八號

海軍大臣官房

昭和八年九月二十七日(水)

## ○辭令

海軍大佐 片桐 英吉

特別俸ヲ賜フ(先明海軍省)

歸朝ヲ命ス

海軍技手 菅原 一男

同 佐藤 道信

英國へ出張ヲ命ス(以上先明海軍省)

## ○雜款

○軍艦妙高行動豫定

吳地	十月一日	九月三十日
門司	十月四日	十月二日
吳沖	十月六日	十月六日
上沖	十月十四日	十月十四日
吳沖	十月二十五日	十月二十三日
門司	十月二十六日	十月二十五日
吳地		十月二十五日

○軍艦龍驤行動豫定

吳地	十月三日	十月三日
福岡	十月五日	十月五日
佐保	十月九日	十月八日
江田	十月九日	十月九日
吳地		十月九日

○軍艦長門行動豫定

吳地	十月十日	十月八日
橫須賀		

○軍艦駒橋行動豫定變更(六月二十二日本欄参照)

吳地	十月十日	九月二十六日
橫須賀		
作業地	十月十日	十月十二日
函館	十月十二日	十月十四日
作業地		
橫須賀	十月二十七日	

軍海公報 第千九百八十八號

昭和八年九月二十七日

九六五

0351

<p>○特務艦知床行動豫定變更(九月十五日)</p> <p>地名 着日 發日</p> <p>佐世保 十月十四日 九月二十三日</p> <p>德島 九月二十四日 二十八日</p> <p>吳須賀 十月三日 三十日</p> <p>吳世保 九月九日 十七日</p> <p>佐世保 十月十三日 十一日</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>軍艦妙高宛 九月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p> <p>十月一日迄ニ同 門司</p> <p>同ノ二十二日迄ニ同 吳</p> <p>其ノ後ハ</p>	<p>軍艦龍驤宛 十月二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p> <p>同ノ七日迄ニ同 佐世保</p> <p>其ノ後ハ</p>	<p>軍艦長門宛 十月七日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀</p> <p>其ノ後ハ 吳</p> <p>○郵便物發送先變更(六月二十一日)</p> <p>(本欄参照)</p>	
<p>軍艦駒橋宛 十月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 大湊局留置</p> <p>同ノ十三日迄ニ同 函館局留置</p> <p>其ノ後ハ 横須賀</p>	<p>○郵便物發送先變更(九月十八日)</p> <p>特務艦知床宛 九月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p> <p>十月六日迄ニ同 横須賀</p> <p>同ノ十一日迄ニ同 吳</p> <p>其ノ後ハ 佐世保</p>	<p>○出發 山本特命檢閱使一行ハ來十月一日午後一時東京驛出發ノ豫定</p>	<p>○電話架設 海軍省軍務局長海軍少將吉田善吾宅(目黒區柿ノ木坂三九七ノ一) 荏原 四五〇九番</p>	<p>○事務所移轉 東京海軍監督官事務所ハ來十月一日ヨリ東京市麴町區内幸町一丁目三番地大阪ビルディング二號館四階へ移轉ス</p>

0352

○ 艦船所在 指▲印△ハホフ

○ 九月二十七日午前十時調

【横須賀】 日進▲、山城、八雲、北上、長門、赤城、

木曾、白鷹、神通

△松風、△電、漣

△伊一、伊二

富士▲、尻矢、青島

【長浦】 嚴島

横、春風、旗風、朝風、雷、響、△秋霧、

曉、△汐風、島風、灘風、夕風

呂二〇、呂二二、呂二二、△呂五九、

呂五七、呂五八、△伊四、伊三、△伊二三、

伊二四

△掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【浦賀】(子日)

【館山】 比叡

△陸奥、△日向、金剛、△阿武隈、由良、

名取、△夕張、△迅鯨、△加賀、鳳翔、

△鳥海、高雄、愛宕、摩耶、△青葉、衣笠、

加古、△球磨

△水無月、皐月、文月、長月、△夕月、望月、

三日月、菊月、△卯月、睦月、如月、彌生、

△沖風、峯風、矢風、澤風、△曙、△潮、

騰、△天霧、朝霧、夕霧、△深雪、自雪、

初雪、△白雲、叢雲、東雲

△伊六〇、△伊六五、伊六六、伊六七、

△伊五四、伊五三、伊五五、△伊五八、

伊五六、伊五七

間宮、神威、鳴戸

【大湊】△秋風、帆風、太刀風、羽風

大泊

【吳】 榛名、矢矧、妙高、那珂、龍驤、大井、

長鯨、扶桑、古鷹、那智、勝力、韓崎、

淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

△綾波、浦波、敷波、△磯波、吹雪、薄雲、

△藤、葛、萩、薄

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、△呂二六、呂二七、呂二八、

△伊五二、伊五一、△呂六五、呂六六、

呂六七、△伊二三、伊二一、伊五

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃二三

石廊、攝津、朝日、襟裳、隠戸

(伊六八)

【大阪】 伊勢

(掃一四)、(真鶴)

【徳山】 知床

0353

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕顔、菊

呂三一▲

【佐世保】

長良、足柄、羽黒、川内、霧島、龍田、常磐、八重山、磐手

梨、竹、樞、夕風、朝風、追風、疾風、栗、柿、榊、楡

呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六一、呂六二、呂六〇、呂六八、呂六四、呂六三、伊六二、伊六一、伊六四、伊六三、伊五九

救島、鶴見

(初春)

【馬公】

吳竹、若竹、早苗

【鎮海】

蓬、蓮、蓼

【旅順】

芙蓉、朝顔、刈萱

【秦皇島】

能登呂

【青海島】

平戸、出雲、天龍、堅田▲

【上海】

董、葦、菱

【吳淞】

樅、桃、柳、楡

【南京】

浦風

燕湖 二見

【九江】

鳥羽、對馬

【漢口】

安宅、保津、熱海

【長沙】

宇治、隅田

【宜昌】

伏見

【馬尾】

五十鈴

【廣東】

嵯峨

【作業地】

淀、駒橋

【航海中】

室戸

【膠州】

比良 (十八日上海發—宜昌へ)

【早鞆】

(十八日徳山發—「オハ」へ)

【勢多】

(二十五日南京發—漢口へ)

【大和】

(二十五日佐世保發—清津へ)

【洲崎】

(二十五日「オハ」發—徳山へ)

(附録八頁、部内限二頁)

0354

# 海軍公報 附録

昭和八年九月二十七日(水)  
海軍大臣官房

## ○ 雜款

### ○ 圖書

去ル八月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書ノ部

A二〇〇 戰 備

米國海軍に於ける水陸設備の計畫及實施

横須賀海軍建築部譯 昭和八

P一五七

A三三〇 陸海軍政策

米國海軍政策の改訂と其の影響

海軍大佐 關根郡平著 昭和八  
東京 海軍省海軍軍事普及部

P一五五

A五六一 航海圖表

昭和九年航海年表

水路部編 昭和八

P一五一

昭和九年湖沙表 上卷

C一〇〇 海 軍

黎明期ノ帝國海軍

海軍兵學校編 昭和八

P一五三

C四一〇 水路誌

アフリカ東岸水路誌 第一卷 水路部編 昭和八 八八三

揚子江水路誌 第二卷 追補第一 水路部編 昭和八 P一五三

南洋群島水路誌 追補第二 水路部編 昭和八 P一五四

### ○六一〇 精神教育

艦隊氣分(昭和七年艦内新聞) 海軍省教育局編 昭和八 P一五七

國際聯盟離脱に關する 詔書註解 神道護國聯盟編 昭和八 P一五三

### D一〇〇 日本史

國史大圖鑑 自第一卷 至第四卷 國史大圖鑑編輯所編 昭和七 八八一

### D一二二 日本史—時代史

神皇統系民族文化ノ真相 神代ノ國史 高窪喜八郎著 昭和八 八八〇

### D四一〇 日本陸戰史

上海事變誌 上海居留民團編 昭和八 八七〇

### D六二〇 傳記、逸話、美談—武人

滿洲義烈談 后編 御崎 明著 昭和八 八七六  
大連 滿洲出版會公論社 八七七

海軍公報 附録

0355

<p> <b>E 三〇〇 外交、國際法（一般）</b>            大亞細亞主義と日支關係 中谷武世著 昭和八            東京 大亞細亞協會 P 一五六  <b>E 二一〇 外交史</b>            國際外交錄 杉村陽太郎著 昭和八 東京 中央公論社 八六七  <b>E 三三〇 國際聯盟</b>            國際聯盟に於ける日支問題議事錄 後編            ーリットン報告書の審議より日本の聯盟脱退迄ー            國際聯盟事務局東京支局編 昭和八            東京 國際聯盟附録刊行會 八六七            日支問題に關する諮問委員會の報告書            國際聯盟事務局東京支局編 昭和八            東京 國際聯盟事務局東京支局 P 一五七四  <b>E 三四〇 軍縮問題</b>            一般軍縮會議經過概説 其の四            （昭和八年一月より三月迄）            海軍省海軍軍事普及部編 昭和八 P 一五七七            一般軍縮會議經過概説 其の五            （昭和八年三月より六月迄）            海軍省海軍軍事普及部編 昭和八 P 一五八三  <b>E 三七〇 戰爭ノ問題</b>            日支紛争を如何に解決するか？            原田政治著 昭和八 東京 原田政治 P 一五六九  <b>E 三八〇 各國ノ問題</b> </p>	<p>           最近に於ける北滿鐵道問題 陸軍省調査班編 昭和八 P 一五六三  <b>E 三八一 各國ノ問題—日本</b>            海の生命線 海軍大佐 武富邦茂著 昭和八            東京 海軍省海軍軍事普及部 P 一五七七            小成に安んずる勿れ 海軍省海軍軍事普及部編 昭和八 P 一五七六            世界を相手に戦はゞ？ 永島義高著 昭和八            大阪 義高社 P 一五六一            交通對思想、經濟國難觀 松尾小三郎著 P 一五六六            日本ノ支那侵略及排外教育ノ確證 外務省文化事業部譯 昭和八            東京 文化事業部 P 一五七五  <b>E 三八三 各國ノ問題—支那</b>            阿片問題と支那農村經濟 田中忠夫著 昭和八            東京 東亞研究會 P 一五九〇  <b>E 四〇〇 條約</b>            日印通商條約廢棄と其影響 時事新報社編 昭和八            東京 時事新報社 P 一五八九  <b>E 五二〇 各國々情—支那</b>            熱河肅清後の北支情勢と停戰交渉 陸軍省調査班編 昭和八 P 一五六三            中國國民黨の輪廓 陸軍省調査班編 昭和八 P 一五六四  <b>E 一四〇 行政</b>            行政法撮要 下卷 美濃部達吉著 昭和八            東京 有斐閣 八八四         </p>
---	--

F二七〇 法令集 滿日滿洲國六法全書 帝國地方行政學會編 昭和八 對譯 東京 帝國地方行政學會	G一〇〇 財政 インフレーションに關する調査 第二卷 大戦中獨逸に於けるインフレーションの情勢 東京商工會議所編 昭和八 東京商工會事務所	G二〇〇 經濟 更生郷土の交通的經濟觀 松尾小三郎著 昭和七 G二〇一 經濟政策 經濟參謀本部論 國家經濟研究所譯 昭和八 東京 國家經濟研究所	G三三三 爲替 外國爲替の基礎智識 木村増太郎著 昭和八 東京 刀江書院	H一〇〇 産業 産業北海道 札幌放送局編 昭和八 札幌 日本放送協會北海道支部	H一〇一 産業ニ關スル問題 日英綿業戰—其真相と今後の展望— 時事新報社編 昭和八 東京 時事新報社	H一〇二 工場 昭和八 全國工場通覽 商工省編 昭和八 東京 日刊工業新聞社	H一一一 農業 昭和八 全國工場通覽 商工省編 昭和八 東京 日刊工業新聞社
内地ニ於ケル米穀需給ニ關スル調査資料 農林省米穀部編 昭和八 東京 農林省米穀部	H一二二 山林 日本林制史資料 江戸時代 皇家御料 農林省編 昭和八 公家領 東京 朝陽會 寺領	H一一五 鑛山 ソヴェト石油の智識 茂森唯士著 昭和八 東京 露西亞通信社	H一四〇 交通 鐵道港灣亡國嘆矣 松尾小三郎著 昭和八	H二二〇 統計諸表 日本臺灣對南洋貿易統計 臺灣總督官房調査課編 附 南洋各國船舶統計 昭和八	I一七〇 日本地誌—事情 昭和關東應要覽 關東長官官房調査課編 昭和八	I六〇〇 地圖 中華折類分省圖 歐陽纘著 中華民國廿二 武昌 亞新地學社 模範日本大地圖 木崎龍尾編 綉密	J三〇〇 工學 太平洋列國現勢大地圖 大阪集書堂編 大阪 大阪集書堂
P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇	P一五八〇

毎軍公報 附錄

0357

照明工學ボケツトブック	昭明學會編 昭和五 東京 昭明學會	八五八
J三一〇 機械工學		
改訂鐵塔と其設計	岡義明、大元政一郎共著 昭和七 東京 オーム社	八四六
J三一四 建築		
高等建築學 第十六卷	建築計畫四 高橋貞太郎著 東京 常盤書房	八三七
J三二〇 電氣工學		
電氣サイン	小西彦麿、川口誠彌共著 昭和八 東京 オーム社	八四三
最新建築電氣	伊藤奎三著 昭和八 東京 オーム社	八四四
短波長無線電信電話	中上豊吉、小野孝共著 昭和六 東京 オーム社	八四五
電熱工學	大山松次郎著 昭和七 東京 オーム社	八四七
汽力を補助と發電水力の經濟的利用	木多勘一郎著 昭和五 東京 オーム社	八四八
送電回路の電氣特性	ネスビット著 松瀬勇雄譯 昭和四 東京 コロナ社	八四九
電氣工學理論綱要	スタインメッツ全集 II スタインメッツ著 コロナ社 昭和五 東京 コロナ社	八五〇
電氣機器の理論及計算	スタインメッツ全集 V スタインメッツ著 コロナ社 昭和五 東京 コロナ社	八五一
無線工學の理論と實際	ハイマイ著 講上録譯 昭和八 東京 コロナ社	八五三
電燈及照明 上、中、下卷	福田 豊著 昭和二―五 東京 電氣之友社	八五三
最新電話 前編	道田貞治著 昭和八 東京 電氣之友社	八五四
最新電話 中編	道田貞治著 昭和七 東京 電氣之友社	八五五
交流電氣機械實驗法	山本 勇編 昭和五 東京 電氣之友社	八五六
送電及配電	送電之部 藤田經定、各務米次郎共著 配電之部 昭和三―五 東京 電氣之友社	八五七
スチル氏架空電力輸送	電氣工學會著 大正一四 東京 オーム社	八五九
軌近の送電問題	電氣學會編 昭和七 東京 電氣學會	八六〇
水銀整流器の理論と應用	北村未造著 昭和六 東京 丸善株式會社	八六一
自動交換電話	稻垣太郎、森 勇共著 大正一四 東京 早稻田大學出版部	八六三
新水力發電 第一卷	電機學校標準叢書 電氣學校編 昭和五 東京 電氣學校	八六三
新水力發電 第二卷	電機學校標準叢書 電氣學校編 昭和六 東京 電氣學校	八六四
電氣鐵道の實際と計算 上、下	河合發次著 昭和五―六 東京 工業雜誌社	八六五
電氣磁氣測定法並測定器具 上、下	清水與七郎著 昭和三―七 東京 裳華房	八六七
電氣機械試驗法 自第一編 至第六編	小澤省吾著 大正五―昭和二 東京 厚生閣	八六八
K一三五 思想		



思想讀本 土田香村著 昭和八 東京 日本評論社	八六元	M五四〇 各種記念寫眞帖	
瀧川教授問題と我が思想觀 —教育亡國絶叫— 原田英夫著 昭和八 東京 國民教育會出版部	P一五〇	昭和八年 靖國神社臨時大祭記念寫眞帖	A五九八
K三六〇 學校、教科書		靖國神社臨時大祭紀念委員編 昭和八	A五九九
東京帝國大學一覽 昭和八年度 東京帝國大學編 昭和八 東京 東京帝國大學	P一五六五	M五五〇 戰役記念寫眞帖	
K四一一 社會問題		軍艦多摩 滿洲國及 北支方面 警備記念	A六〇〇
郷土の復活と日本文化の還元 松尾小三郎著 昭和七	P一五六八	M六〇〇 辭書類	八八四三
K四一三 社會政策		新聞新語辭典 新通信社編 昭和八 東京 新通信社	
難關突破の新生活—更生實話—部落篇 中央教化團體聯合會編 昭和八 東京 中央教化團體聯合會	P一五二二	M六八〇 辭書類—科學	
M二〇〇 叢書		電氣大辭典 上、下卷、索引 大日本電氣研究所編 昭和六 東京 大日本電氣研究所出版部	八八六六
ソウエート聯邦の新進進出(第一號) 滿鐵經濟調查會編 昭和八 大連 南滿洲鐵道株式會社	P一五七	○洋書ノ部	
M五二〇 寫眞術		1. ENGLISH BOOKS.	
寫眞採光法 菊地東陽著 昭和四 東京 オリエンタル寫眞工業株式會社	八七四	(A420. Seamanship) Tayloe, D. W.—The Speed and Power of Ships, 1933, Washington, Randsell Incorporated. \$460 & \$461	
通俗寫眞の原理 ミリス原著 森芳太郎譯 大正一四 東京 丸善株式會社	八七五	(A460. Aviation) Saint-Denis, Antoine de—Night Flight. tr. by Gilbert, Stuart. London, Desmond Harnsworth. \$429	
寫眞科學の話 佐々木彌太郎著 昭和七 東京 フォトタイムス社	八七九		

海軍公報 附録

五

0359

- (D120. British History)  
Macaulay, Lord.-The History of England.  
Vol. 1-5. 1931, London, Oxford University  
Press. 8463
- (E326. Nation's Problem-Japan)  
Rine, Victor.-Machiarvelli of Nippon. 1932,  
New, York, The Wandering Eye. 8431
- (H010. Industrial Problem)  
Dahlberg, Arthur.-Jobs, Machines, and  
Capitalism. 1932, New York, The Macmillan  
Co. 8458
- (H220. Year Books)  
Hall, Fred S.-Social Work Year Book 1933.  
1933, New York, Russell Sage Foundation. 8427  
Department of Railways.-Annual Report  
1932. Tokyo. P293
- (I300, Maps and Atlases)  
W. & A. K. Johnston.-Johnstons' Commercial  
and Library Chart of the World.  
Edinburgh. A214
- (J213. Physics-Electricity)  
Hudson, Ralph Gorton.-Electronics. 1932,  
New York, John Wiley & Sons. 8436  
Magnusson, Carl Edward.-Alternating  
Currents. 1931, New York, McGraw-Hill
- (J300. Engineering-General)  
Book Co. 8446
- Koshkin, Simeon J.-Modern Materials  
Handling. 1932, New York, John Wiley  
and Sons. 8434
- Brady, George S.-Material Handbook.  
1931, New York, John Wiley & Sons.  
American Society for Testing Materials.-  
American Society for Testing Materials.-  
A. S. T. M. Tentative Standards 1932.  
1932, Philadelphia. 8448 & 8449
- (J301. Engineering. Annual Meeting Etc.)  
American Society for Steel Treating.-  
Transactions of American Society for  
Steel Treating. Vol. XVIII. July, 1930-  
December, 1930. 1930, Cleveland. 8450
- (J310. Mechanical Engineering-General)  
Boston, Orian William.-Engineering Shop  
Practice. Vol. 1. 1933, New York, John  
Wiley & Sons. 8435
- Crane, E. V.-Plastic Working of Metals  
and Power-Press Operations. 1932, New  
York, John Wiley & Sons. 8437  
American Society for Testing Materials.-  
Symposium on Welding. 1931, Philadelphia. 8451

0360

1961

- American Society for Testing Materials--  
Symposium on Steel Casting. 1932,  
Philadelphia. S453 & S454
- (J314. Mechanical Engineering-Engine)  
Judge, Arthur W.-High Speed Diesel  
Engines. 1933, London, Chapman & Hall. S430
- (J320. Electric Engineering-General)  
Annett, F. A.-Electrical Machinery. 1921,  
New York, McGraw-Hill Book Co. S443
- McGraw-Hill Book Co.-Wiring Diagrams  
of Electrical Apparatus and Installations.  
1931, New York, McGraw-Hill Book Co. S444
- Brown, Harold W.-Electric Equipment.  
1931, New York, McGraw-Hill Book Co. S445
- American Society for Testing Materials--  
American Society for Testing Materials  
Methods of Test relating to Electrical  
Insulating Materials. 1932, Philadelphia. S452
- Davis, A. F.-Designing for Arc Welding.  
1933, Cleveland, The Lincoln Electric Co.  
S456 & S457
- (J322. Electric Engineering-Communication)  
Ladner, A. W. & Stoner, C. R.-Short Wave  
Wireless Communication. 1933, New York,  
John Wiley & Sons. S438
- Duncan, Rudolph L. & Drew, Charles E.-  
Radio Telegraphy and Telephony. 1937,  
New York, John Wiley and Sons. S439
- (J323. Electric Engineering-Dynam. Motor)  
Annett, F. A. & Roe, A.C.-Connection and  
Testing Direct-Current Machines. 1925,  
New York, McGraw-Hill Book Co. S440
- Brayer, Daniel H.-Armature Winding and  
Motor Repair. 1920, New York, McGraw-  
Hill Book Co. S441
- Dudley, A. M.-Connecting Induction Motors.  
1925, New York, McGraw-Hill Book Co. S442
- (J331. Chemical Engineering-Metal)  
Hedges, Ernest S.-Protective Films on  
Metals. 1932, New York, D. Van Nostrand  
Co. S455
- (J340. Engineering about Aircraft and Automobile)  
Niles, Alfred S. & Newell, Joseph S.-  
Airplane Structures. 1929, New York,  
John Wiley & Sons. S432 & S433
- Society of Automotive Engineers.-S. A.  
E. Handbook 1931 Edition with Supplement  
(Jan. 1932). 1931-32, New York. S462
- (K101. Psychology)  
Vitebs, Morris S.-Industrial Psychology.

(K103. Education) 1932, New York, W. W. Norton & Co. 8459 Office of the Secretary of the University- Tokyo Imperial University Calendar 1933- 34, 1933, Tokyo. P292	(230. Fascism) Einzig, Paul-The Economic Foundations of Fascism. 1933, London, Macmillan & Co. 8428
2. LIBRES FRANÇAIS. (Y900. Oeuvres Générales) Augé, Glauco-Larousse Universel en 2 Volumes. Tome I. II. 1922. Paris, Librairie Larousse. 1546	

0362